

令和2年度 北海道小学校長会地区活性化支援事業【実践事例レポート】

- 1 報告地区：釧路地区
- 2 事例報告学校名：浜中町立散布小中学校
- 3 報告者職・氏名：校長 中村 研 自
- 4 キーワード：海洋教育・地域連携

1 はじめに

本校の所在する浜中町は、道東釧路地方の東端にあり、太平洋に面した霧多布半島は厚岸道立自然公園の一角をなしています。また、約67kmに及ぶ海岸線は砂浜・奇岩絶壁を有し、嶮暮帰島をはじめとする大小様々な島が点在し、内陸部は台地状平原や湿原などの美しい景観に包まれています。

南部に位置する霧多布湿原は、火散布沼、藻散布沼とあわせ「ラムサール条約登録湿地」に認定されているほか、北海道遺産に選定され、その中央部は「霧多布泥炭形成植物群落」として国の天然記念物にも指定されています。

本校は小規模校であり、児童生徒数は小学校24名、中学校13名。家庭数は25で、ほぼ全家庭が漁業に従事しています。散布全体では600人ほどの人口ながら散布漁業協同組合が存在し、漁業が発展することを願う気持ちの強い地域です。

以下、令和元年度から3年間指定された北海道パイオニアスクールの実践を紹介します。

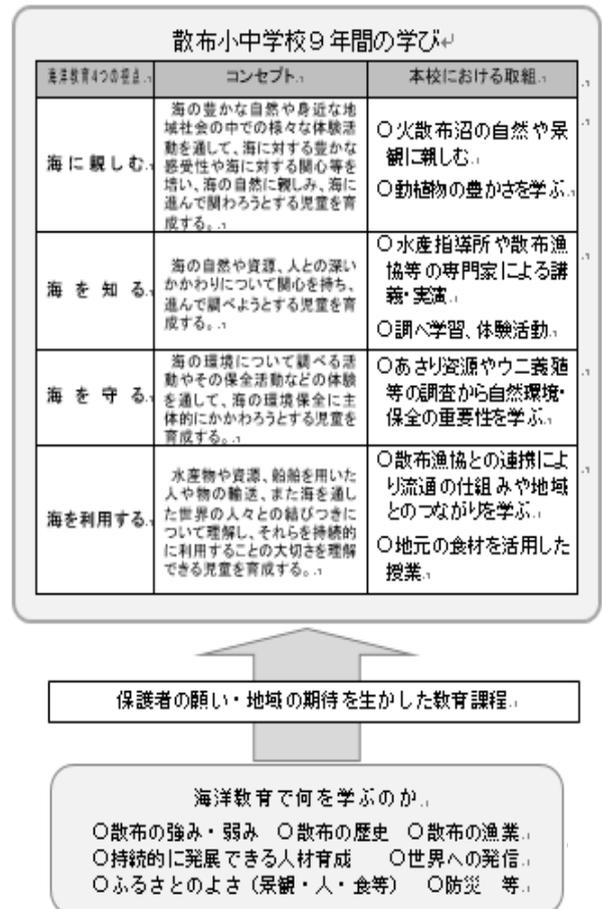
2 「海洋教育パイオニアスクール」と 小中9年間を見通した教育課程

現在北海道の多くの町村では人口減が加速しています。「何とかしなければ」という思いは誰もが抱いていて、町の経済等に係わる大きな問題です。

私は「地域の将来に貢献できる人材」の育成は学校教育の使命であると考え、「本校の児童生徒にどんな力を付けさせるか」について全教職員で研修を深めました。

浜中町をはじめ道東には多くの「宝」があります。魚介類や農産物、文化や歴史、景観などです。それらの宝を生かして豊かな町に発展させるためには、学校教育が大きく関わる必要があります。

海洋教育は海を題材として「将来必要な力」を育む教育です。右の図にあるように身近な素材を通じて「親しみ・知り・守り・利用」する活動を、小中9年間を通じて計画しました。



3 「あさり島活動」と目指す力（ 「社会人基礎力」からの「発信力」育成 ）

本校は平成22年度に散布漁業協同組合から「学校専用のあさり島」の提供を受け、あさり島の再生活動や保護・料理・環境・社会貢献活動などに取り組んできました。令和元年度は漁業協同組合の方や水産指導所の方の講義を受ける事前学習のあと、2日間のあさり掘り体験など地域保護者の強力なサポートがあり、それは10年ほど続いています。児童生徒はこれらの活動から「地域の漁業や環境・流通」まで自分の体験として学んでいます。

パイオニアスクールでは、これらの歴史ある「あさり島活動」を土台に、「どんな力を身に付けさせるのか」を追求してきました。

経済産業省が提唱している「社会人基礎力」は将来必要となる力を12に分けています。前に踏み出す力（アクション）考え抜く力（シンキング）チームで働く力（チームワーク）です。本校は、「あさり島活動」や「海洋教育」のみならず、すべての教育活動で「目指す力」を明確にした教育を推進すべく校内研修を中心に追求しているところです。

12の力はどれも大切な力であるが、「発信力」に焦点を当てると他の力も必然的に必要となります。

あさり島活動などの体験→海洋について追究→協力してまとめる→多様な発信を経験させる。

初年度は、道の実践発表（小6）文化祭での発表（全）大感謝祭での発信（全）公開研究会での発表（小中）など多くの発表・発信を経験させました。

12月の大感謝祭は地域の住民に海洋教育の取り組みを紹介する場であり、中学生は漁組女性部の指導で「タラスパ・タコザンギ・タラバーガー」を提供、また、小学校低学年はドングリやマツボックリを使った遊びを考案し参加者に自ら説明する姿が見られました。

3つの能力/12の要素

前に踏み出す力（アクション）

～一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～



- ・主体性 : 物事に進んで取り組む力
- ・働きかけ力 : 他人に働きかけ巻き込む力
- ・実行力 : 目的を設定し、確実に行動する力

考え抜く力（シンキング）

～疑問を持ち、考え抜く力～



- ・課題発見力 : 現状を分析し、目的や課題を明らかにする力
- ・計画力 : 課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力
- ・創造力 : 新しい価値を生み出す力

チームで働く力（チームワーク）

～多様な人々とともに、目標に向けて協力する力～



- ・発信力 : 自分の意見を分かりやすく伝える力
- ・傾聴力 : 相手の意見を丁寧に聴く力
- ・柔軟性 : 意見の違いや立場の違いを理解する力
- ・状況把握力 : 自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力
- ・規律性 : 社会のルールや人との約束を守る力
- ・ストレスコントロール力 : ストレスの発生源に対応する力

4 地域を体験→地域に詳しく→地域を愛し→地域を発信する学びを！

身近な「海」を題材に体験し、みんなでまとめて発信する。身近にある「宝」に気づき、紹介したくなる学習です。

25歳くらいになって、漁組青年部で散布の「あさりやウニ」の魅力を様々な形で全国や世界に発信する姿を想定しています。

今私は、散布の沼や海岸のデッサンをして、全校朝会で紹介し「景色が最高ですね。校長先生は散布の良いところ探しをしています。皆さんも見つけたら教えて下さい。」と呼び掛けています。また、これらの取組から、本校教職員が地域を学び、将来のイメージが持てたら素晴らしいと思います。

